

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

3月ダイ改・融合化反対！

地域の怒りとともに声あげよう

3月ダイ改・主要員（作業ダイヤ数）提案

- 千葉運輸区：運輸区廃止・統括センター化、乗務員日勤▲7（運転士▲2、車掌▲5）
- 習志野運輸区：運輸区廃止・統括センター化、乗務員日勤▲5（運転士▲2、車掌▲3）
- 佐倉運輸区：運輸区廃止・統括センター化、乗務員日勤▲4（運転士▲1、車掌▲3）、車掌泊+1
- 成田統括センター（銚子）：車掌日勤▲1、泊▲2
- 茂原統括センター：乗務員泊▲1
- 木更津統括センター：乗務員日勤▲2、泊▲1
- 蘇我運輸区：乗務員日勤▲3、泊▲1
- 蘇我運輸区京葉派出：乗務員日勤+2、泊+9

※削減理由：「柔軟な短時間行路の設定」、特急の全車指定席化による車掌行路減、行路移管

大幅な要員削減攻撃

3月ダイ改では、運輸区廃止・統括センター化、柔軟な短時間行路の設定、窓口閉鎖、木更津駅での分割・併合作業担当変更（久留里線・CTS↓運転士・木更津駅、209系併合の誘導：駅↓車掌「その他時間」で対応）など、多くの攻撃がかけられています。

その中で、運輸区で大幅な要員削減が提案されています。重大な問題です。

強制配転の拡大とめよう

また、これまで千葉運輸区等は、「大きくて統括センターにできない」とされてきました。しかし、会社の説明もひっくり返して運輸区全廃・統括センター化が打ち出されています。それによりジョブローテーションによる強制配転もさらに拡大されようとしています。

会社は鉄道の現業部門をないがしろにし、現場で培ってきた専門的な技術や経験を軽んじて、生活も破壊する形で業務融合化やジョブローテーションを進めてきました。

その中で若年退職者が急増しています。この数年で約4倍になり21年度は767人にもなります。統括センター化でさらに強制配転が拡大すれば、もっと多くの職場の仲間が希望しない職場に異動させられ、休職や退職に追い込まれることになりかねません。

ジョブローテーションの継続も、統括センター拡大も許せません。

職場から反対の声を

京葉線の快速廃止には千葉県・市、一宮町などから廃止撤回の申し入れが行われる事態になっています。地域の怒りとともに3月ダイ改・統括センター化、ジョブローテーション反対の声をあげよう。